

# Asset Management

## HSBCオルタナティブ・ バランス・ファンド

愛称:マルチアシスト

追加型投信/内外/資産複合/特殊型(絶対収益追求型)

### 交付運用報告書

第3期(決算日2023年4月10日)

作成対象期間(2022年4月12日~2023年4月10日)

第3期末(2023年4月10日)	
基準価額	9,431円
純資産総額	154百万円
第3期	
騰落率	△ 2.2%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

▶当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、弊社のHP(ホームページ)で下記の手順でご覧いただけます。

<閲覧方法>

右記URLにアクセス⇒HP上部の「基準価額」を選択⇒当ファンドのファンド名称を選択⇒「運用報告書」を選択⇒「交付運用報告書・運用報告書(全体版)」の一覧の最新の運用報告書(全体版)を選択すると、当該運用報告書(全体版)を閲覧・ダウンロードすることができます。  
※将来、HPの見直し等により、閲覧方法が変更になる場合があります。

▶運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBCオルタナティブ・バランス・ファンド」は、2023年4月10日に第3期の決算を行いました。

当ファンドは、主として、ルクセンブルク籍証券投資法人の投資信託証券(円建て/ヘッジありクラス)への投資を通じて、世界(日本を含む)の株式、債券、通貨の指数先物等に実質的に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指す投資方針に沿い、運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### HSBCアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング

<<お問い合わせ先(投信営業本部)>>

電話番号: 03-3548-5690

(営業日の午前9時~午後5時)

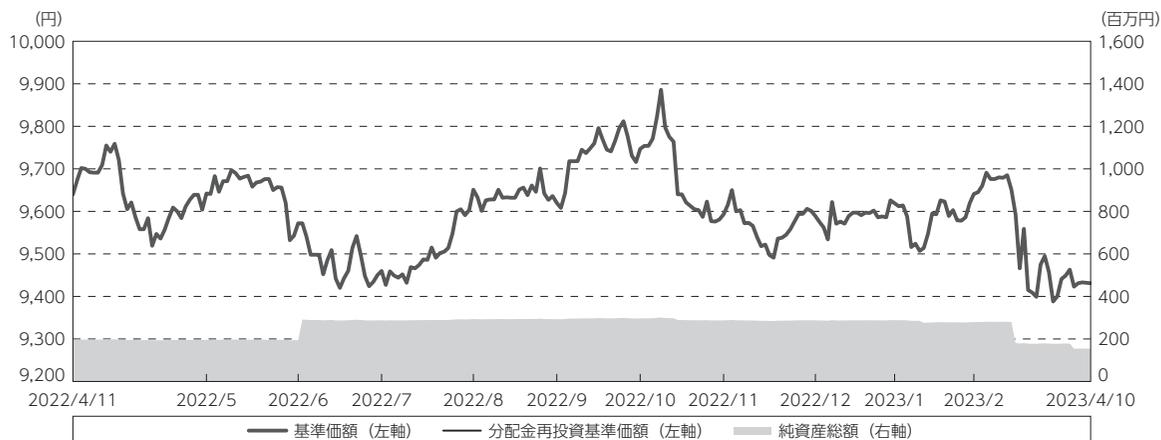
ホームページ: [www.assetmanagement.hsbc.co.jp](http://www.assetmanagement.hsbc.co.jp)



◆運用経過◆

基準価額等の推移について

(第3期：2022年4月12日～2023年4月10日)



期 首：9,640円

期 末：9,431円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 2.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2022年4月11日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

基準価額の主な変動要因

＜上昇要因＞

ファクター別ではバリューがプラスとなりました。

資産クラス別は以下の通りです。

◆株式(国別)

主としてイタリア、スペインの買建て(ロング)のポジション、米国、マレーシア、韓国の売建て(ショート)のポジションが基準価額にプラスに寄与しました。

◆株式(セクター別)

主として米国のエネルギーセクター、欧州の自動車・部品セクターの買建てのポジションが基準価額にプラスに働きました。

◆債券

主としてドイツ、英国、米国の売建てのポジションが基準価額にプラスに寄与しました。

◆通貨

主としてチリペソ、ブラジルレアルの買建てのポジション、日本円、豪ドル、韓国ウォン、南アフリカランドの売建てのポジションが基準価額にプラスに働きました。

<下落要因>

ファクター別ではキャリーとモメンタムがマイナスとなりました。

資産クラス別は以下の通りです。

◆株式（国別）

主としてブラジル、英国、カナダ、ポーランドの買建てのポジション、日本、スウェーデンの売建てのポジションが基準価額にマイナスに寄与しました。

◆株式（セクター別）

主として欧州の基礎資源セクター、欧州の石油ガスセクターの買建てのポジションが基準価額にマイナスに働きました。

◆通貨

主としてコロンビアペソ、ノルウェークローネの買建てのポジション、スイスフラン、シンガポールドルの売建てのポジションが基準価額にマイナスに働きました。

## 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	82	0.856	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 11)	(0.110)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	( 68)	(0.713)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 3)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	19	0.202	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 6)	(0.057)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
( そ の 他 )	( 13)	(0.145)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用等
合 計	101	1.058	
期中の平均基準価額は、9,599円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

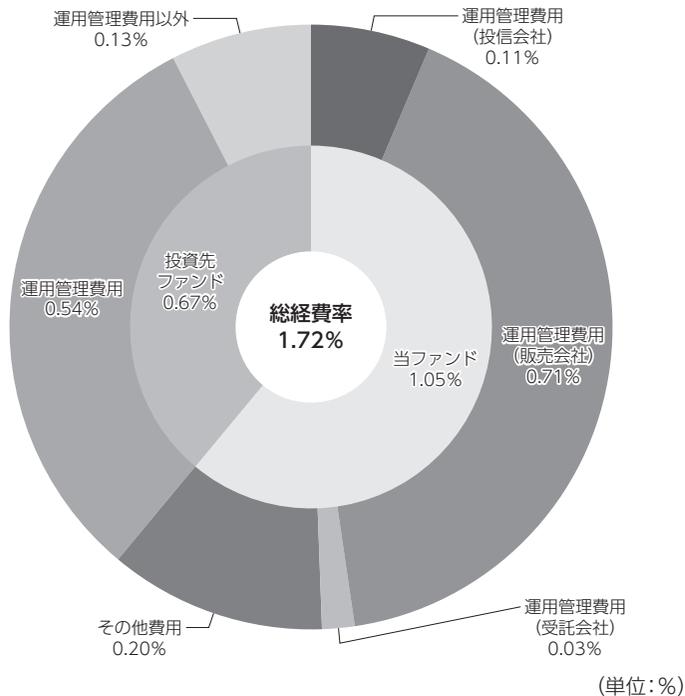
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) 委託者は2022年4月1日から2023年3月31日までの期間に、管理会社より5,172.25米ドルのマネジメントフィーを受領いたしました。

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.72%です。



総経費率(①+②+③)	1.72
①当ファンドの費用の比率	1.05
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.54
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.13

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について (2018年4月10日～2023年4月10日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 当ファンドの設定日は2020年3月24日です。

	2020年3月24日 設定日	2021年4月12日 決算日	2022年4月11日 決算日	2023年4月10日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,795	9,640	9,431
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 2.1	△ 1.6	△ 2.2
純資産総額 (百万円)	1	180	195	154

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2021年4月12日の騰落率は設定当初との比較です。  
 (注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## 投資環境について

世界の株式市場については、先進国市場（MSCIワールド・インデックス、現地通貨ベース）が当期を通じて4.4%下落しました。期初から2022年6月中旬にかけては米国の積極的な利上げなどから途中上下動を見せながらも下落傾向となりました。8月中旬にかけては米国のインフレ期待の低下や欧州のエネルギー供給不足に対する懸念の後退に伴い上昇傾向に転じたものの、10月中旬にかけては欧米の大幅利上げにより下落傾向となりました。2023年2月初旬にかけては米国の利上げペースの鈍化観測、中国の経済活動再開への期待などを背景に途中上下動を見せながらも上昇基調に転じたのち、期末にかけては一定範囲内で推移しました。新興国市場（MSCIエマージング・マーケット・インデックス、現地通貨ベース）は当期を通じて5.6%下落しました。期初から2022年10月下旬にかけては欧米の金融引き締め政策、中国の景気減速懸念などを背景に途中上下動を見せながらも下落基調となったのち、2023年1月下旬にかけては中国の経済活動再開への期待などにより上昇傾向に転じました。その後、米中関係の悪化懸念に伴い3月中旬にかけては下落傾向になったものの、期末にかけては中国の堅調な景気指標などから上昇に転じました。

世界の国債市場については、先進国市場（FTSE世界国債インデックス、現地通貨ベース）は当期を通じて6.2%下落しました。期初から2022年10月中旬にかけては欧米の積極的な金融引き締め政策などにより下落基調となったものの、期末にかけては欧米の金利先高観の後退などを背景に上昇基調に転じました。新興国市場（JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド、現地通貨ベース）は当期を通じて6.0%上昇しました。期初から2022年10月中旬までは一定範囲内で推移したのち、期末にかけては欧米の金利先高観の後退、新興国における利上げサイクルの停止観測などを背景に上昇基調に転じました。

(注) 原則として、指数の騰落率は期首・期末の前営業日の数値をもとに算出しています。

## ポートフォリオについて

資産クラス別では、株式においては主に英国、イタリアを買建てのポジションに、スウェーデン、米国を売建てのポジションに維持しました。債券に関しては、主にスイス、韓国を買建てのポジションに、スウェーデン、ドイツを売建てのポジションに維持しました。通貨では、主にノルウェークローネ、コロンビアペソを買建てのポジションに、スイスフラン、韓国ウォンを売建てのポジションに維持しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## 分配金について

当期につきましては、基準価額の水準・市況動向等を勘案し、分配なしとさせていただきます。  
 なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

### ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第3期
	2022年4月12日～ 2023年4月10日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	—

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ◆今後の運用方針◆

世界(日本を含む)の株式、債券、通貨の指数先物等に実質的に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

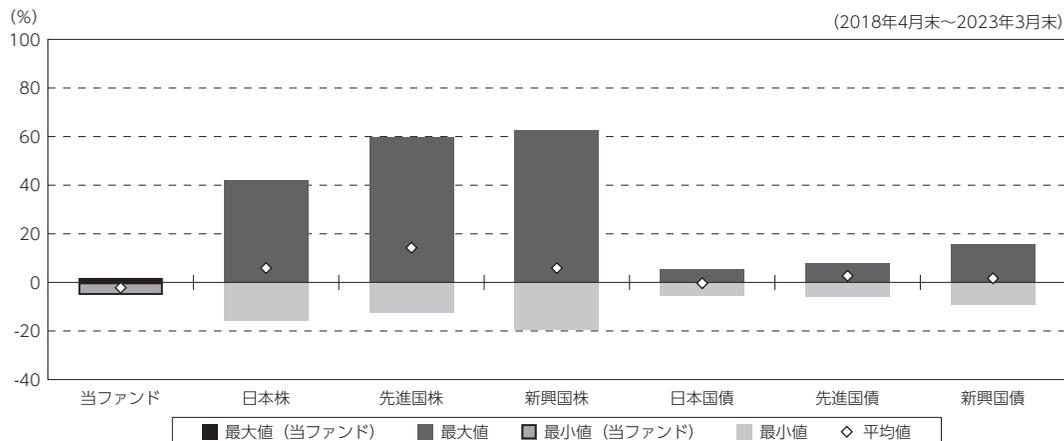
## ◆お知らせ◆

ありません。

## ◆当ファンドの概要◆

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）
信託期間	2020年3月24日～2030年4月10日
運用方針	世界（日本を含む）の株式、債券、通貨の指数先物等に実質的に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	主として、ルクセンブルク籍証券投資法人「H S B Cグローバル・インベストメント・ファンドーマルチアセット・スタイルファクターズ」（「H S B C G I F マルチアセット」）に投資します。また、「H S B Cグローバル・インベストメント・ファンドーユーロ・ボンド」にも投資します。
運用方法	<p>主として世界の株式、債券、通貨の指数先物等に投資します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－運用にあたっては、バリュー、モメンタム、キャリーの3つの市場収益特性（スタイルファクター）に注目し、資産の買建て（ロング）および売建て（ショート）を行う複数のロング・ショート戦略を用いて運用を行うことにより、特定の市場に左右されにくい絶対収益を追求する投資信託証券（円建て／ヘッジありクラス）に投資します。</li> <li>－欧州の投資適格債券等を投資対象とする投資信託証券（円建て／ヘッジありクラス）にも投資します。当該投資信託証券の組入れは低位とします。</li> </ul> <p>為替変動リスクの低減を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－投資する投資信託証券（円建て／ヘッジありクラス）において、実質的な通貨配分にかかわらず、原則として当該クラスの純資産額をユーロ換算した額とほぼ同額程度のユーロ売り円買いの為替取引を行います。</li> </ul>
分配方針	<p>年1回の決算時（毎年4月10日、休業日の場合は翌営業日）に、以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</li> <li>②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</li> <li>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</li> </ol>

◆ (参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較 ◆



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	1.8	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	15.7
最小値	△ 5.2	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4
平均値	△ 2.2	5.9	14.3	5.9	△ 0.3	2.7	1.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年4月から2023年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2021年3月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## ◆当ファンドのデータ◆

(2023年4月10日現在)

## 当ファンドの組入資産の内容

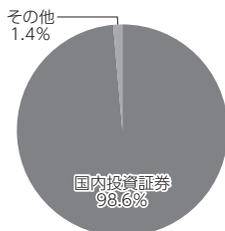
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第3期末
	%
H S B Cグローバル・インベストメント・ファンドー マルチアセット・スタイルファクターズークラスX C H J P Y	98.0
H S B Cグローバル・インベストメント・ファンドー ユーロ・ボンドークラスX C H J P Y	0.6
組入銘柄数	2銘柄

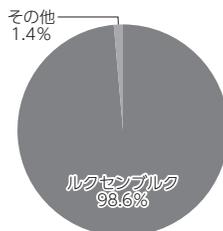
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

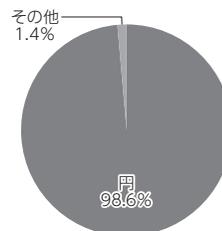
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。国別配分は、国・地域別による配分です。

(注) 国内投資証券には外国籍（邦貨建）の投資証券を含めております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## ○純資産等

項目	第3期末
	2023年4月10日
純資産総額	154,546,065円
受益権総口数	163,873,697口
1万口当たり基準価額	9,431円

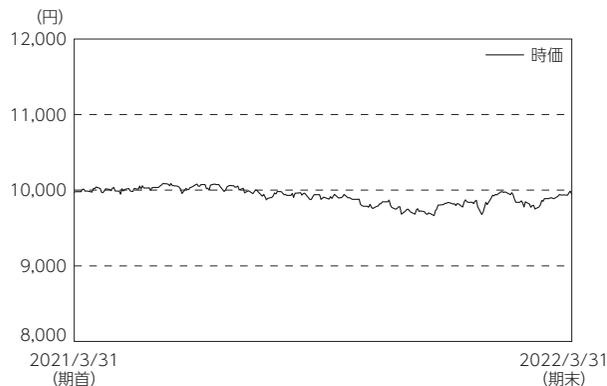
(注) 期中における追加設定元本額は101,345,643円、同解約元本額は140,604,942円です。

## 組入上位ファンドの概要

◆HSBCグローバル・インベストメント・ファンドーマルチアセット・スタイルファクターズークラスXCHJPY (円建て/ヘッジあり)  
 (「HSBC G I F マルチアセット」) (計算期間 2021年4月1日～2022年3月31日)

※以下のデータは、監査済み資料として作成時現在で入手できる直近の計算期間に関する情報です。

### ○時価の推移



\* 上記は単位当たりの純資産額 (円) で表示しています。

### ○主要構成比率 (2022年3月31日現在)

#### 【株式】

#### ロング・ポジション上位10位

スウェーデン	4.8%
スペイン	3.9%
南アフリカ	2.6%
ブラジル	2.5%
ポーランド	2.4%
イタリア	1.8%
台湾	1.7%
フランス	1.4%
カナダ	0.9%
欧州セクター・基礎資源	0.9%

#### ショート・ポジション上位10位

日本	-6.1%
タイ	-2.4%
マレーシア	-2.4%
米国	-1.6%
米国セクター・公益事業	-1.5%
韓国	-1.4%
オーストラリア	-1.2%
インド	-1.1%
メキシコ	-0.8%
スイス	-0.6%

### ○1万口当たりの費用明細

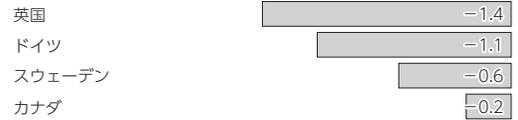
「HSBC G I F マルチアセット」はルクセンブルク籍の外国籍投資証券であり、1万口当たりの費用明細については開示されていないため、記載しておりません。

## 【債券】 デュレーション (年)

## ロング・ポジション

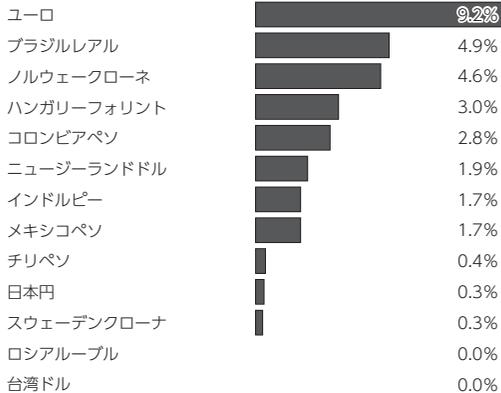


## ショート・ポジション

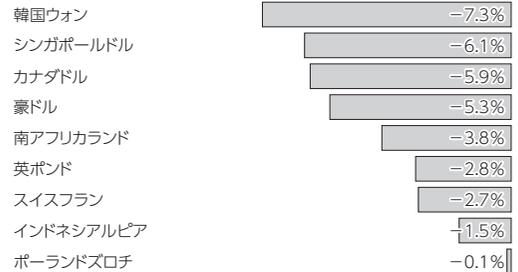


## 【通貨別配分】

## ロング・ポジション



## ショート・ポジション



ロング・ポジション合計	86.4%
-------------	-------

ショート・ポジション合計	112.3%
--------------	--------

ネット・ポジション	-25.9%
-----------	--------

※比率は純資産額対比です。ポジションが0のものは、ロング・ポジションとして記載しています。通貨のポジションは、対米ドルで評価・計算します。各ポジションは表示単位未満を四捨五入しています。そのため、ロング・ポジション合計とショート・ポジション合計の差額は、ネット・ポジションと一致しない場合があります。

・全銘柄に関する情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されております。

出所：H S B Cグローバル・アセット・マネジメント（フランス）のデータをもとにH S B Cアセットマネジメント株式会社が作成

## ◆指数に関して◆

### <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### ○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

#### ○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

#### ○FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。